

## 令和4年度 事業報告書

### 1, 大阪府「大阪健康安全基盤研究所」植栽一式

研究所の増築に伴い中央大通りに面した北側は、既存のクスの木を生かして緑地帯の整備を行い、増築棟周辺の植樹は隣地からの視線を遮る効果を得た。(9,460 千円)

### 2, 大阪府「環境農林水産総合研究所」植栽一式

所内の桜がクビアカツヤカミキリムシの被害を受け伐採をしたため、近隣住民に所内を開放して桜の鑑賞を提供していたが不可能となっている。併せて松の老朽化により枝折れ倒木の危険があるため伐採をし、跡地に桜の植樹をした。(7,440 千円)

### 3, 大阪府「万博記念公園東の広場」植栽一式

大阪万博から 50 年を経過し、ソメイヨシノが寿命を迎えようとしている。東大路から太陽の塔に至るまでは桜の人気スポットだが枯れ死が始まっており、時間をかけて世代交代を図るべく、ソメイヨシノの植樹を行った。(4,730 千円)

### 4, 大阪府「長野公園」植栽一式

金剛山麓に 5 か所に分かれた長野公園は、それぞれがさくら、もみじ、あじさいなど特徴を持たせた公園になっている。令和 3 年度には当事業団がアジサイの再生を行ったが、今年は延命寺地区の秋を充実させるため、もみじ、ミツマタ、ヒガンバナを植えた。(4,180 千円)

### 5, 大阪府「蜻蛉池公園」植栽一式

蜻蛉池公園内にある花木園は丘陵地を生かして様々な花木が植栽され、季節を問わず来園者の目を楽しませている。このエリアを見渡せる大きな斜面 400 m<sup>2</sup>にユキヤナギを植栽して景観整備を行った。(2,860 千円)

### 6, 大阪府「住吉公園」植栽一式

海側から住吉大社に向かう参道塩掛道の両サイドはセンダンの木が迎えてくれる。しかし明治 6 年に公園に指定された大阪府で最も古い公園のセンダンが老化し、枝ぶりも悪く緑が減ってきている。そのため松を補植して公園の魅力を向上させた。(2,090 千円)

7、交野市「天野川緑地」植栽一式

交野市では天野川の河川敷を利用した 1.6 kmにわたる緑道公園があり、健康遊具や大型複合遊具、トイレ等の設備を配置して、子供からお年寄りまで多くの市民に利用されている。市制 50 周年を迎え緑道公園の再整備を行い、桜の名所を目指してジンダイアケボノを植樹した(3年計画の2年目)。(10,130 千円)

8、交野市「星田駅北中央線」植栽一式

学研都市線星田駅の北側に隣接する東部大阪都市計画事業において、新設する全幅 16 メートルのメイン道路の歩道に街路樹を植える。居住施設や沿道サービス施設を誘致し、府民に開かれたにぎわいある歩道緑陰空間を創出した(2年計画の2年目)。(9,600 千円)

9、吹田市「江坂公園」植栽一式

地下鉄江坂駅の東側に位置する江坂地域の中心部にある江坂公園の並木の再生を行った。開設から 50 年が経過し、ポプラ並木のポプラが台風で傷み、枝折れ、枯損が目立っているため、安全確保と景観向上を両立させた。(9,220 千円)

10、枚方市「牧野公園」植栽一式

京阪牧野駅の東側に位置する牧野公園の老朽化した桜並木を再生させる。古く平安時代から交野の桜として片埜神社を中心として桜に親しまれてきて、隣接する牧野公園も花見の名所として親しまれてきた。3年かけて再生を行う。(6,204 千円)

11、富田林市「寺池公園」植栽一式

2025年の大阪万博に合わせた「万博の桜」構想に共鳴して寺池公園の桜並木の再生を図る。古くから桜祭りなどで地域に定着しているが、樹の老朽化が目立つため景観を取り戻すことが出来た。(4,136 千円)

12、貝塚市「ドローン・クリケットフィールド」植栽一式

ドローンとクリケットを楽しめる芝生広場の周辺は多くの桜が植えられ名所となっていたが、病気と老朽化で緑が消えてしまった。「万博の桜」に共鳴し、ジンダイアケボノを植栽することで景観を復活させた。(1,900 千円)

13、堺市「大仙公園」植栽一式

百舌鳥古墳群の中心にある総合公園の催し広場に桜を植えて「万博の桜」に取り組み、ジンダイアケボノを植えることで景観アップを図れた。(1,700 千円)

14、堺市「大浜公園」植栽一式

大浜公園は明治 12 年に開園した堺市で最も古い公園で、多くの市民に利用されている。「万博の桜」の取り組みとして、老朽化した桜をジンダイアケボノに植え替えることで、安全の確保と景観向上を実現した。  
(1,650 千円)

15、大阪市「中之島公園」植栽一式

中之島は中央公会堂、東洋陶磁美術館、こども本の森図書館に囲まれた一帯の車乗り入れを令和 3 年 4 月に禁止し、歩行者空間として新たなケヤキ並木を植栽した。しかし従前よりの中之島通南側のケヤキは樹勢の衰えが著しく、土壌調査の結果、土壌改良が必要との結論に至った。新たなケヤキを植栽して水都大阪を代表する歩行者空間を創出した。  
(5,335 千円)

16、大阪市「大阪城公園顕彰塔前」植栽一式

大阪城公園の一角に、社会運動に携わった方たちの顕彰碑があり、この度 50 年を機に改装を行い周辺の樹木の整理をした。その空間を埋めるべくジンダイアケボノ 2 本を植栽した。  
(680 千円)

17、大阪市「三軒家公園」植栽一式

三軒家公園周辺のマンション建設により若い世代が流入し、子供たちでにぎわっている。町会では公園愛護会による美化活動も行われており、区としてはコミュニティー活性化の取り組みとして公園美化の支援をしている。現在植栽されている木が先年の風台風で傷んでおり、これを植え替えて樹下で弁当を広げられる空間にした。  
(2,730 千円)

18、大阪市「依羅小学校」植栽一式

ブロック塀を撤去し、ネットフェンスに沿って植樹を行いたい。アジサイとヒラドツツジの間にハナミズキを 10 本植えて花を楽しめるようにした。  
(2,850 千円)

19、大阪市「城北小学校」植栽一式

ブロック塀を撤去し、ネットフェンスに沿って植樹を行い、すでにあるクスの木の上にオタフクナンテンを植えて彩のある環境にした。  
(2,650 千円)

20、大阪市「長吉六反中学校」植栽一式

ブロック塀を撤去し、グラウンドの整備に伴い、八尾市と隣接する府道 300 メートルの校庭周辺をレッドロビンで囲って景観を整えた。  
(5,050 千円)

21、大阪市「東淀中学校」植栽一式

校舎の改築を終え、工事中に伐採した空間を埋めるため、多くの植樹をしたことで学内に潤いを取り戻した。 (6,580 千円)

22、「大阪公立大」植栽一式

経済学部棟西側の JR と隣接する部分の植栽が線路に懸かったため伐採したところ騒音がひどくなり、あらためてモッコク、ハナミズキなど 29 本を植えることで藪に埋もれて鬱蒼とした一角の美観を取り戻した。 (2,420 千円)

23、「うめきた」植栽一式

まち全体がみどりに包まれたうめきた 2 期地区の都市景観にふさわしい道路景観を生み出すため、高規格の街路樹を植栽するとともに、連続植栽帯による緑化を基本とし、街開き時から豊かな緑を市民に提供する(工事は継続中)。 (100,000 千円)

※大阪府「にぎわいの森事業（大阪城港）」は翌年度に延期。

以上総合計 203,595 千円